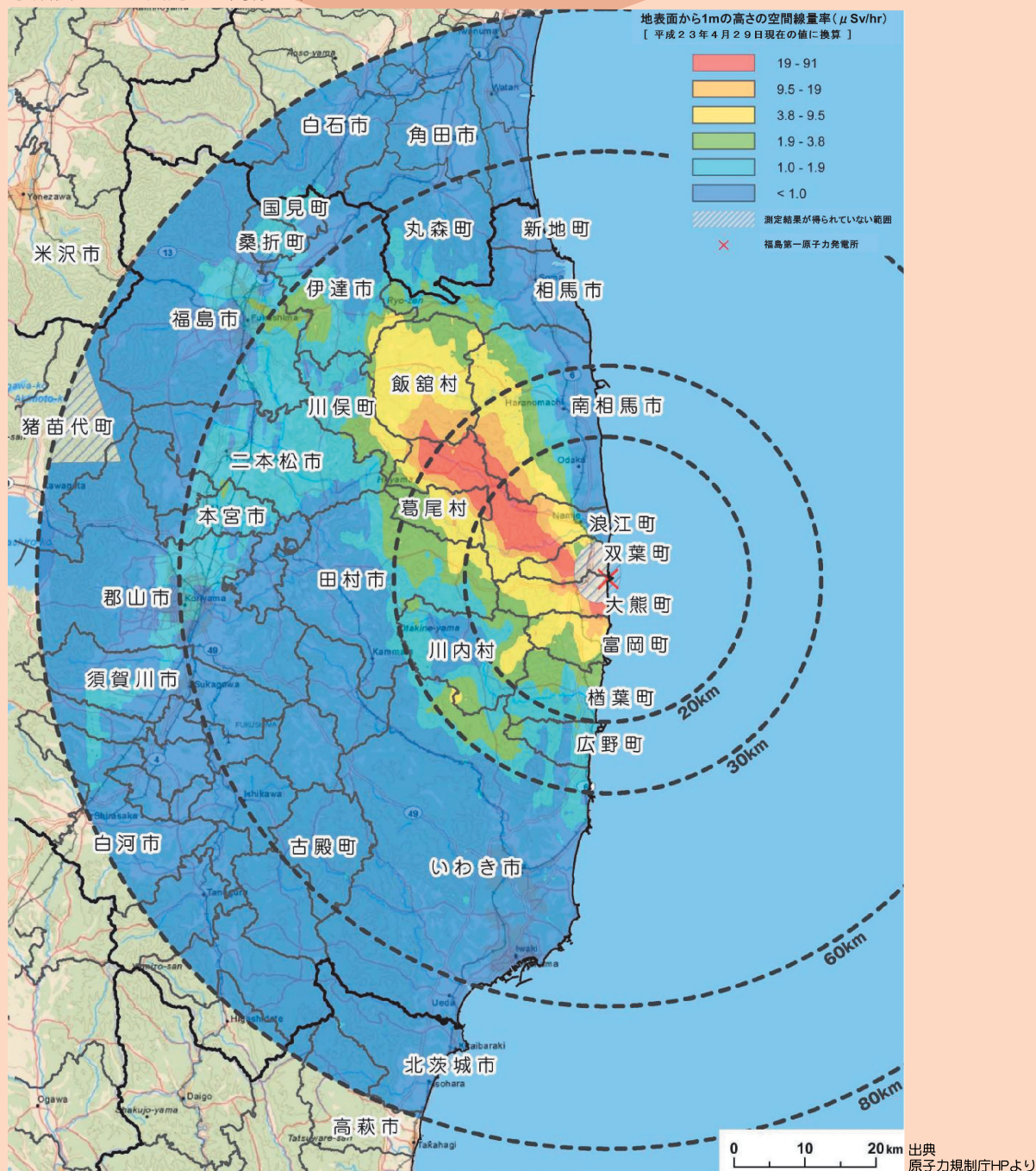


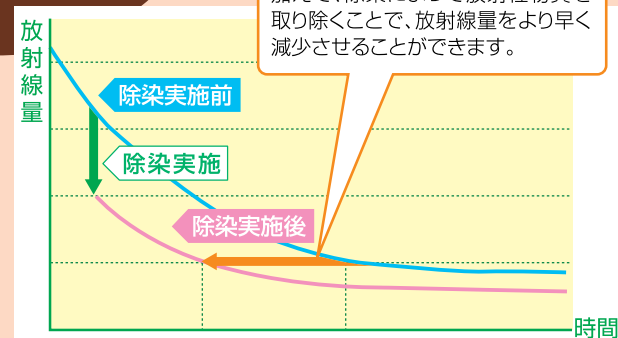
原発事故による放射能汚染状況

原発事故により放出された放射性物質で広範囲に汚染されました。

事故後の80km圏内の空間線量率



除染の目的



除染の実施状況

市及び国は、右図において、計画に基づく除染を平成29年3月までに一通り実施しました。

国が除染を実施

市が除染を実施

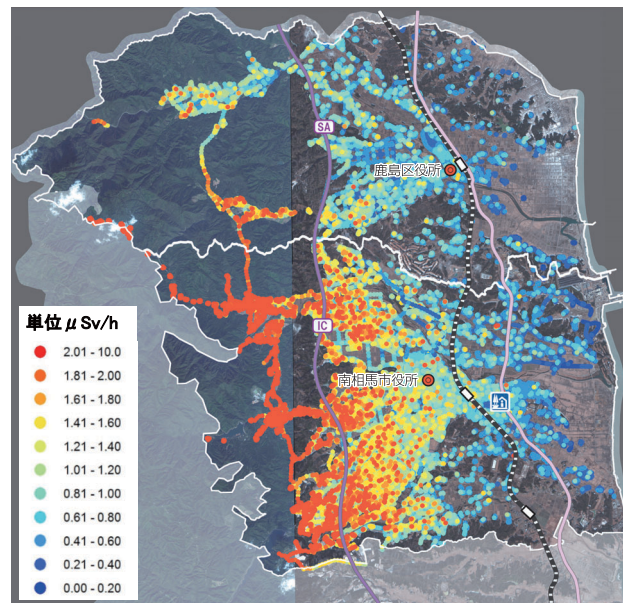


空間線量率の推移

下図は、空間線量率を色別で地図上に示したものです。濃い青色が増え、空間線量率が下がってきている様子が分かり、放射能汚染からの環境回復が進んでいます。

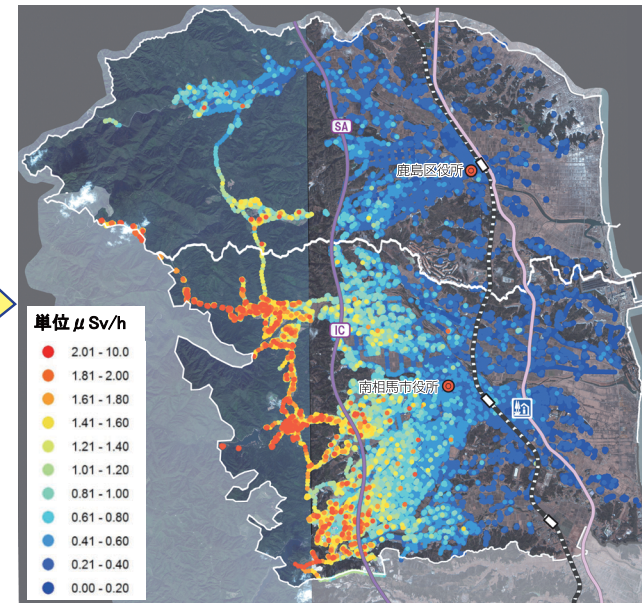
原発事故直後

平成23年(推定値)



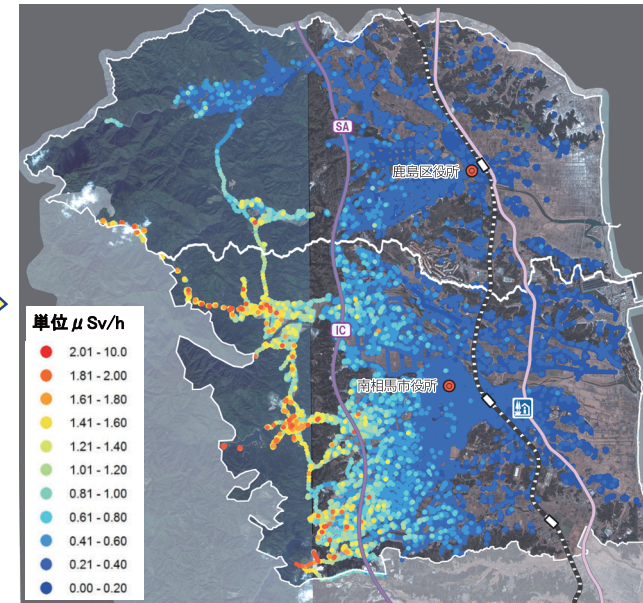
除染前

平成24年～平成27年



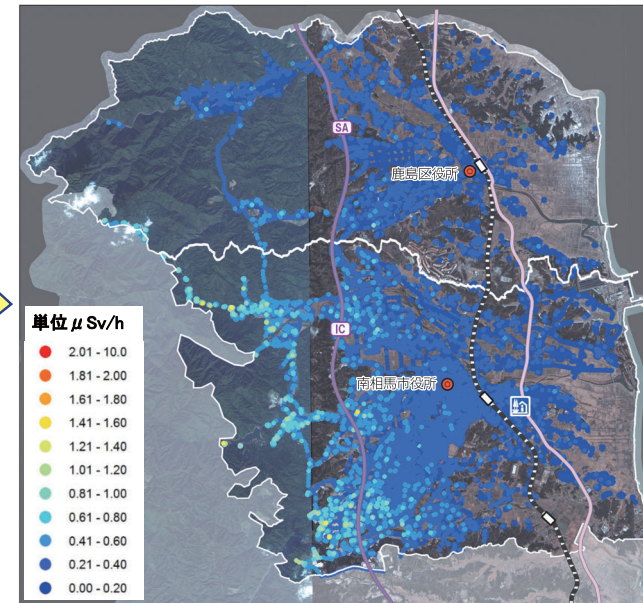
除染後

平成24年～平成28年



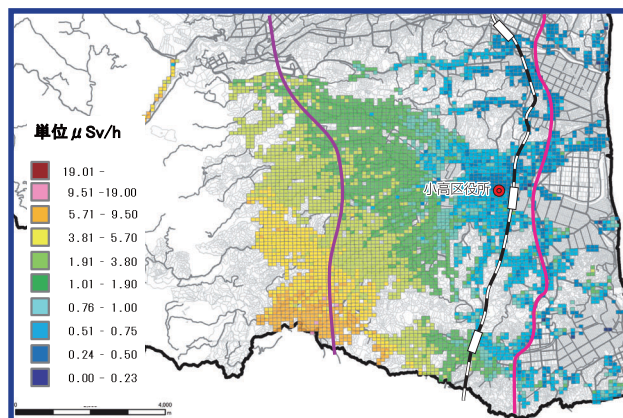
事後モニタリング

平成28年

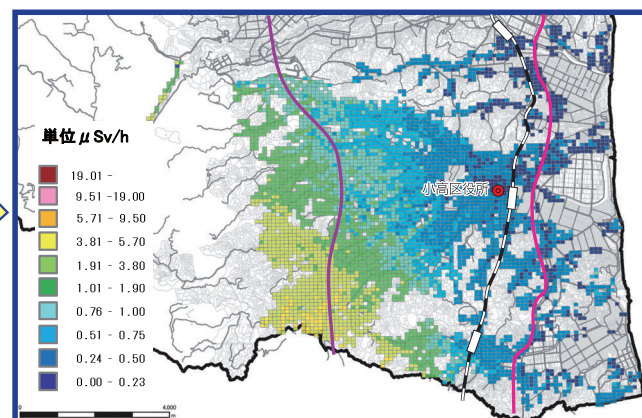


※上の一連の4図は市が行った生活圏除染の内、宅地及び道路についての空間線量率を地図上に示したものです。

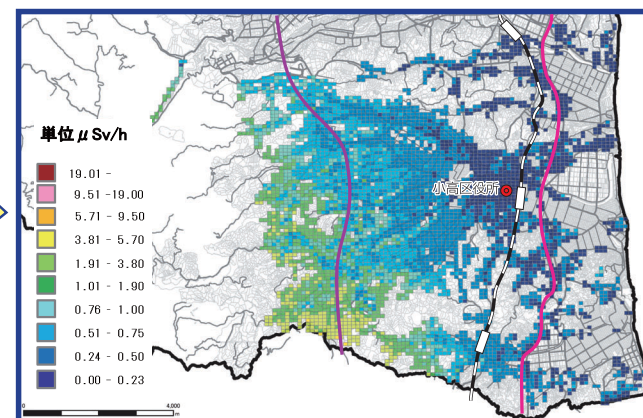
平成23年(推定値)



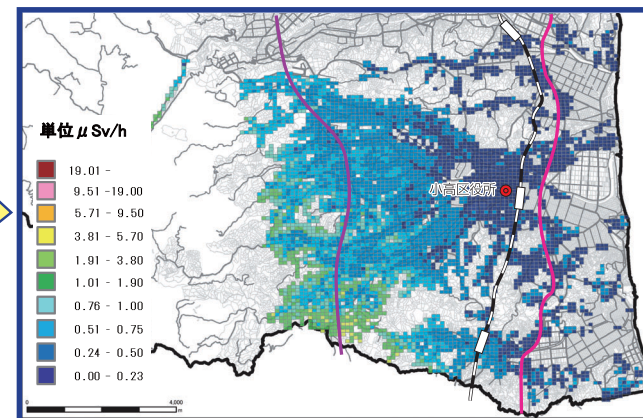
平成25年～平成28年



平成25年～平成28年



平成28年

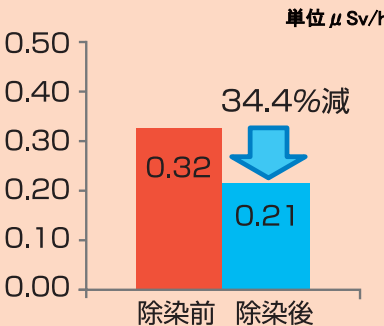


※上の一連の4図は国が行った除染の結果を線量メッシュマップにしたもので、農地等の除染結果も含まれます。
※事後モニタリングは、除染の効果が保たれているかを確認するため、除染実施後一定期間を経過した後に実施します。

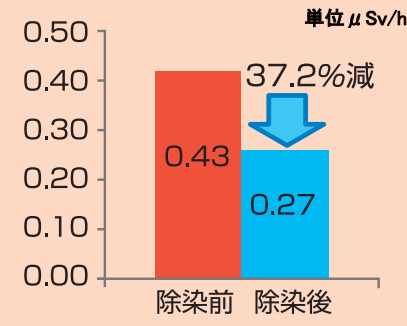
除染の効果

グラフは市が除染を行った箇所の各測点の空間線量率データの平均値です。

宅地



農地



外部被ばく線量の比較(平成29年実施)

県外3市と「大差」なし

原発事故の影響をほとんど受けていない南砺市、多治見市、福山市に協力をいただき、この3市と南相馬市で同時期に市の職員に小型の個人積算線量計を身に着けてもらい、放射線量を測定しました。その結果、4市ともほとんど差はありませんでした。

測定期間:平成29年5月29日～6月11日(2週間)
測定人数:4市とも25人ずつ計100人

※各市の放射線量は、測定期間を1年に換算した場合の値です。

